



ハント グループのアクセス

- [ハント グループの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ハント グループの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [ハント グループの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)
- [ハント グループの連携動作 \(8 ページ\)](#)
- [ハント グループの制限 \(9 ページ\)](#)

ハント グループの概要

ハント グループは階層的に編成された回線のグループで、ハント グループ リストの最初の番号が話中の場合は 2 番目の番号にダイヤルされます。2 番目の番号が話中の場合は次の番号がダイヤルされるという具合に続きます。

電話ユーザは、ハント グループへのログインまたはハント グループからのログアウトに IP フォンの [ハント (Hlog)] ソフトキーまたは [ハント グループ (Hunt Group)] 回線ボタンを使用します。電話にはログイン状態が視覚的に表示されるので、ユーザは各自が 1 つ以上の回線グループにログインしているかどうかを確認できます。

ハント グループ機能には次の機能があります。

- ユーザは IP フォンの [ハント (Hlog)] ソフトキーを使用して電話へのログインと電話からのログアウトを切り替えます。
- ハント グループにより、発信者が内線番号グループから使用可能な回線を自動的に検出できます。
- ハント グループ ログオフ機能により、電話ユーザは、電話番号にルーティングされた着信コールを電話機で受信しないように設定できます。電話に関連付けられている 1 つ以上の回線グループへのコール以外の着信コールの場合、電話のステータスに関係なく電話の呼び出し音が鳴ります。



(注) 電話番号 (DN) は、電話に関連付けられている回線グループに属しません。

- システム管理者は、ハン ト グル ー プ に 自 動 で ロ グ イ ン し た 電 話 へ の ユ ー ザ の ロ グ イ ン ま た は ロ グ ア ウ ト を 実 行 で き ます。
- 電 話 ユ ー ザ は [ハン ト (Hlog)] ソ フ ト キ ー を 使 用 し て、電 話 の 電 話 番 号 が 属 す る す べ て の 回 線 グル ー プ か ら、そ の 電 話 を ロ グ ア ウ ト で き ます。
- Cisco Unified Communications Manager リ リ ー ス 9.0 以 降 で は、ハン ト グル ー プ ロ グ オ フ 機 能 に よ り、モ バ イ ル デ バ イ ス を デ ス ク フ ォ ン と し て 使 用 で き る よ う に な り ま し た。モ バ イ ル ク ラ イ ア ン ト か ら [ハン ト (Hlog)] ソ フ ト キ ー を 使 用 す る 場 合、ハン ト パ イ ロ ッ ト に 対 し て 発 信 さ れ た コ ー ル を 受 信 し ま せ ン。

ハン ト グル ー プ の 前 提 条 件

- 電 話 機 は Skinny Client Control Protocol (SCCP) ま た は Session Initiation Protocol (SIP) を 実 行 中 で あ る 必 要 が あ り ます。
- 電 話 機 の 呼 出 音 ファ イ ル は TFTP デ ィ レ ク ト リ (/usr/local/cm/tftp) に 存 在 す る 必 要 が あ り ます。

ハン ト グル ー プ の 設 定 タ ス ク フ ロ ー

始 め る 前 に

- [ハン ト グル ー プ の 前 提 条 件 \(2 ペ ー ジ\)](#) を 確 認 し て く だ さ い。

手 順

	コ マ ン ド ま た は ア ク シ ョ ン	目 的
Step 1	ハン ト グル ー プ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 設 定 (3 ペ ー ジ)	[ハン ト (HLog)] ソ フ ト キ ー の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 設 定 し ます。
Step 2	<p>共 通 デ バ イ ス 設 定 と ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 関 連 付 け (4 ペ ー ジ) を 行 う に は、次 の サ ブ タ ス ク を 完 了 し ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 共 通 デ バ イ ス 設 定 へ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 追 加 (5 ペ ー ジ) • 電 話 機 と 共 通 デ バ イ ス 設 定 の 関 連 付 け (6 ペ ー ジ) 	<p>オ プ シ ョ ン。ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 電 話 で 使 用 で き る よ う に す る に は、こ の 手 順 か 次 の 手 順 の い ず れ か を 実 行 す る 必 要 が あ り ます。シ ス テ ム が [共 通 デ バ イ ス 設 定 (Common Device Configuration)] を 使 用 し て 設 定 オ プ シ ョ ン を 電 話 機 に 適 用 す る 場 合 は、こ の 手 順 に 従 い ます。こ れ は、電 話 機 で ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 使 用 で き る よ う に す る 際 に、最 も 一 般 的 に 使 用 さ れ て い る 方 法 で す。</p>

	コ マ ン ド ま た は ア ク シ ョ ン	目 的
Step 3	電話機とソフトキーテンプレートの関連付け (6 ページ)	オプション。次の手順は、ソフトキーテンプレートと共通デバイス設定を関連付けるための代替手段として、または共通デバイス設定と共に使用します。ソフトキーテンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てを上書きする必要がある場合は、次の手順を共通デバイス設定と共に使用します。
Step 4	電話でのハン ト グル ー プ 対 応 設 定 (7 ページ)	ハン ト グル ー プ お よ び ハ ン ト リ ス ト の ロ グ イ ン お よ び ロ グ ア ウ ト が 自 動 的 に 行 わ れ る よ う に 電 話 を 設 定 し ま す 。

ハン ト グル ー プ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 設 定

[HLog] ソフトキーは電話が次のコール状態のときに電話に表示されます。

- 接続されている状態
- オンフック (On Hook)
- オフフック (Off Hook)



(注) [HLog] ソフトキーを設定するには新しいソフトキーテンプレートを作成する必要があります。標準ソフトキーテンプレートに [HLog] ソフトキーを設定することはできません。

以下の手順を使用して、[HLog] ソフトキーを使用できるようにします。

手 順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]。
- Step 2** 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- a) [新規追加] をクリックします。
 - b) デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - c) [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - d) [保存] をクリックします。

- Step 3** 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
 - 必要な既存のテンプレートを選択します。
- Step 4** [デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。
- (注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。
- Step 5** 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから [ソフトキーレイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- Step 6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウンリストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。
- Step 7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。
- Step 8** 追加のコール状態でのソフトキーを表示するには、前述のステップを繰り返します。
- Step 9** [保存] をクリックします。
- Step 10** 次のいずれかの操作を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」と「電話機のセクションとソフトキーテンプレートの関連付け」を参照してください。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行します。

- [共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 \(5 ページ\)](#)
- [電話機とソフトキーテンプレートの関連付け \(6 ページ\)](#)

共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け

(オプション) ソフトキーテンプレートを電話機に関連付ける方法は2つあります。

- ソフトキーテンプレートを [電話の設定 (Phone Configuration)] に追加します。
- ソフトキーテンプレートを共通デバイス設定に追加します。

ここに示す手順では、ソフトキーテンプレートを共通デバイス設定に関連付ける方法について説明します。システムが共通デバイス設定を使用して設定オプションを電話機に適用する場合は、この手順に従ってください。これは、電話機でソフトキーテンプレートを使用できるようにする際に、最も一般的に使用されている方法です。

別の方法を使用するには、「電話機とソフトキーテンプレートの関連付け（6 ページ）」を参照してください。

始める前に

[ハン ト グル ー プ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 設 定 （ 3 ペ ー ジ ）](#)

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加（5 ページ）	
Step 2	電話機と共通デバイス設定の関連付け（6 ページ）	

共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理（Cisco Unified CM Administration）] から、以下を選択します。[デバイス（Device）]>[デバイスの設定（Device Settings）]>[共通デバイス設定（Common Device Configuration）]を選択します。
- Step 2** 新しい共通デバイス設定を作成し、それにソフトキーテンプレートに関連付けるには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
 - a) [新規追加] をクリックします。
 - b) [名前（Name）] フィールドに、共通デバイス設定の名前を入力します。
 - c) [保存] をクリックします。
- Step 3** 既存の共通デバイス設定にソフトキーテンプレートを追加するには、次の手順を実行します。
 - a) [検索（Find）] をクリックして、検索条件を入力します。
 - b) 既存の共通デバイス設定をクリックします。
- Step 4** [ソフトキーテンプレート（Softkey Template）] ドロップダウンリストで、使用可能にするソフトキーが含まれているソフトキーテンプレートを選択します。
- Step 5** [保存] をクリックします。
- Step 6** 次のいずれかの操作を実行します。
 - すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、[設定の適用（Apply Config）] をクリックしてデバイスを再起動します。

- 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。

電話機と共通デバイス設定の関連付け

始める前に

[共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 \(5 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
 - Step 2** [検索 (Find)] をクリックし、ソフトキーテンプレートを追加する電話デバイスを選択します。
 - Step 3** [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーテンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
 - Step 4** [保存] をクリックします。
 - Step 5** [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。
-

電話機とソフトキーテンプレートの関連付け

この手順は省略可能です。この手順を代わりに使用して、ソフトキーテンプレートを共通デバイス設定と関連付けることができます。また、この手順は共通デバイス設定とも連動しています。ソフトキーテンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てを上書きする必要がある場合に使用します。

始める前に

[ハントグループのソフトキーテンプレートの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** Cisco Unified CM 管理から、[デバイス] > [電話機] を選択します。
[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
 - Step 2** ソフトキーテンプレートを追加する電話機を選択します。
[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - Step 3** [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。
 - Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。

電話の設定を更新するには[(Reset)]を押すというメッセージ付きのダイアログボックスが表示されます。

電話でのハントグループ対応設定

ハントグループとハントリストに自動でログインまたはログアウトするよう電話を設定するには、この手順を使用します。

始める前に

電話の電話番号が1つ以上のハントグループに属することを確認します。

ハントグループおよびハントリストに関しては、『[Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager](#)』を参照してください。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- Step 2** 次のいずれかの操作を実行します。
- a) 既存の電話機についてのフィールドを変更するには、検索条件を入力し、検索結果の一覧から電話機を選択します。[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - b) 新しい電話機を追加するには、[新規追加] をクリックします。
[新規電話を追加 (Add a New Phone)] ウィンドウが表示されます。
- Step 3** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、次のタスクのいずれかを実行します。
- a) ハントグループから電話をログアウトさせるには、[ハントグループにログインする (Logged Into Hunt Group)] チェックボックスをオフにします。
 - b) ハントグループに電話をログインさせるには、[ハントグループにログインする (Logged Into Hunt Group)] チェックボックスをオンにします。
- (注) すべての電話ではデフォルトで[ハントグループにログイン (Logged Into Hunt Group)] チェックボックスがオンになっています。
- Step 4** [保存] をクリックします。
-

ハントグループのサービスパラメータの設定

[ハントグループログオフ通知 (Hunt Group Logoff Notification)] サービスパラメータは、回線グループへの着信コールが電話に到達したものの、その電話がログアウトしている場合に、着信音をオンまたはオフにするオプションを提供します。この着信音は、ログアウト中のユーザに、

自 分 の 回 線 が メン ー バ ー に な っ て い る ハン ト リ ス ト に 着 信 コ ー ル が あ る こ と を 知 ら せ ま す が、回 線 グル ー プ の メン ー バ ー の 電 話 は、ロ グ ア ウ ト し て い る た め、呼 出 音 が 鳴 り ま せ ン。

[ハン ト グル ー プ ロ グ オ フ 通 知 (Hunt Group Logoff Notification)] サ ー ビ ス パ ラ メ ー タ を 設 定 す る に は、次 の 手 順 を 実 行 し ま す。

手 順

-
- Step 1** Cisco Unified CM の 管 理 か ら、[シ ス テ ム (System)] > [サ ー ビ ス パ ラ メ ー タ (Service Parameters)] を 選 択 し ま す。
 - Step 2** [サ ー バ (Server)] ドロ ッ プ ダ ウ ン リ ス ト で、Cisco CallManager サ ー ビ ス を 実 行 し て い る サ ー バ を 選 択 し ま す。
 - Step 3** [サ ー ビ ス (Service)] ドロ ッ プ ダ ウ ン リ ス ト か ら、[Cisco CallManager] を 選 択 し ま す。
[サ ー ビ ス パ ラ メ ー タ 設 定 (Service Parameter Configuration)] ウィ ン ド ウ が 表 示 さ れ ま す。
 - Step 4** [ク ラ ス タ 全 体 の パ ラ メ ー タ (Clusterwide Parameters)] ([デ バ イ ス - 電 話 (Device - Phone)]) セ ク シ ョ ン で、次 の [ハン ト グル ー プ ロ グ オ フ 通 知 (Hunt Group Logoff Notification)] サ ー ビ ス パ ラ メ ー タ の 値 を 設 定 し ま す。
回 線 グル ー プ (ハン ト グル ー プ) の メン ー バ ー が ロ グ ア ウ ト 中 の 場 合 に、Cisco IP 電 話 が 再 生 す る 着 信 音 ファ イ ル の 名 前 を 入 力 し ま す。こ の サ ー ビ ス パ ラ メ ー タ の デ フ ォ ル ト 値 は [な し (None)] で、こ れ は 着 信 音 が な い こ と を 意 味 し ま す。255 文 字 ま で 入 力 で き ま す。
 - Step 5** [保 存 (Save)] を ク リ ッ ク し ま す。
ウィ ン ド ウ が 更 新 さ れ、Cisco Unified Communications Manager は、変 更 内 容 で サ ー ビ ス パ ラ メ ー タ を 更 新 し ま す。
-

ハン ト グル ー プ の 連 携 動 作

機 能	デ ー タ の や り 取 り
非 共 有 回 線 電 話 番 号	電 話 機 が 回 線 グル ー プ か ら ロ グ ア ウ ト し て、そ の 電 話 機 の 内 線 番 号 が 共 有 さ れ て い な い 場 合 は、そ の 回 線 グル ー プ 内 の そ の 電 話 番 号 (DN) で 呼 出 音 が 鳴 り ま せ ン。主 に 回 線 グル ー プ が DN へ の コ ー ル を 提 供 し て い る 場 合 は、コ ー ル 処 理 で そ の DN が ス キ ッ プ さ れ、そ の DN が 回 線 グル ー プ に 属 し て い な い か の よ う に 処 理 さ れ ま す。

機能	データのやり取り
共有回線電話番号	<p>ハン ト グル ー プ からの ログ ア ウ ト 機能 は デ バ イ ス ベ ー ス であるため、ユーザが電話機からログアウトすると、その機能はログアウトされた電話機にのみ影響を与えます。共有回線電話番号を含む回線グループへのコールは次のように動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DN を共有しているすべての電話機がログアウトされた場合は、その DN で呼出音が鳴りません。 • DN を共有している 1 つ以上の電話機がログアウトされた場合は、その DN で呼出音が鳴ります。 • ログアウトされた電話機の可聴呼出音は、デフォルトでオフになっています。Cisco Unified Communications Manager は、コールがログアウトしたハン ト グル ー プ メ ン バ ー に 到 達 し た と き に 別 の 呼 出 音 が 鳴 る よ う に 設 定 可 能 な シ ス テ ム パ ラ メ ー タ を 提 供 し て い ま す。

ハン ト グル ー プ の 制 限

制約事項	説明
複数の回線グループ	<p>ユーザが [ハン ト (HLog)] ソフトキーを押してハン ト グル ー プ の ログ オ フ 機能 を 有 効 に す る と、電話は関連付けられたすべての回線グループからログアウトします。これはハン ト グル ー プ の ログ オ フ が デ バ イ ス ベ ー ス の 機能 であるためです。電話に複数のグループに属する DN がある場合に [ハン ト (HLog)] ソフトキーを押すと、電話は関連付けられたすべての回線グループからログアウトします。</p>

制 約 事 項	説 明
<p>7940、7960、および サードパーティ SIP 電 話機</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SIP を実行している電話（7906、7911、7941、7961、）がハン ト グル ー プ に ログイン して いて [不在転送（Call Forward All）] がアクティブになっている場合、コールは SIP を実行している電話に表示されます。 • SIP を実行している 7940 と 7960 電話がハン ト グル ー プ に ログイン して いて [不在転送（Call Forward All）] がアクティブになっている場合、その電話はスキップされて回線グループの次の電話が鳴ります。 • SIP を実行している 7940 と 7960 電話および SIP を実行しているサードパーティの電話は、[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウを使用してハン ト グル ー プ に ログイン または ログアウトできますが、ソフトキーのサポートはありません。 • SIP を実行している 7940 と 7960 電話および SIP を実行しているサードパーティの電話のステータス行に [ハン ト グル ー プ の ログアウト（Logged out of hunt groups）] 「」 は表示されません。 • SIP を実行している 7940 と 7960 電話および SIP を実行しているサードパーティの電話は、電話でトーンが設定されているかどうかに関係なく [ハン ト グル ー プ の ログオフの通知（Hunt Group Logoff Notification）] トーンは再生されません。